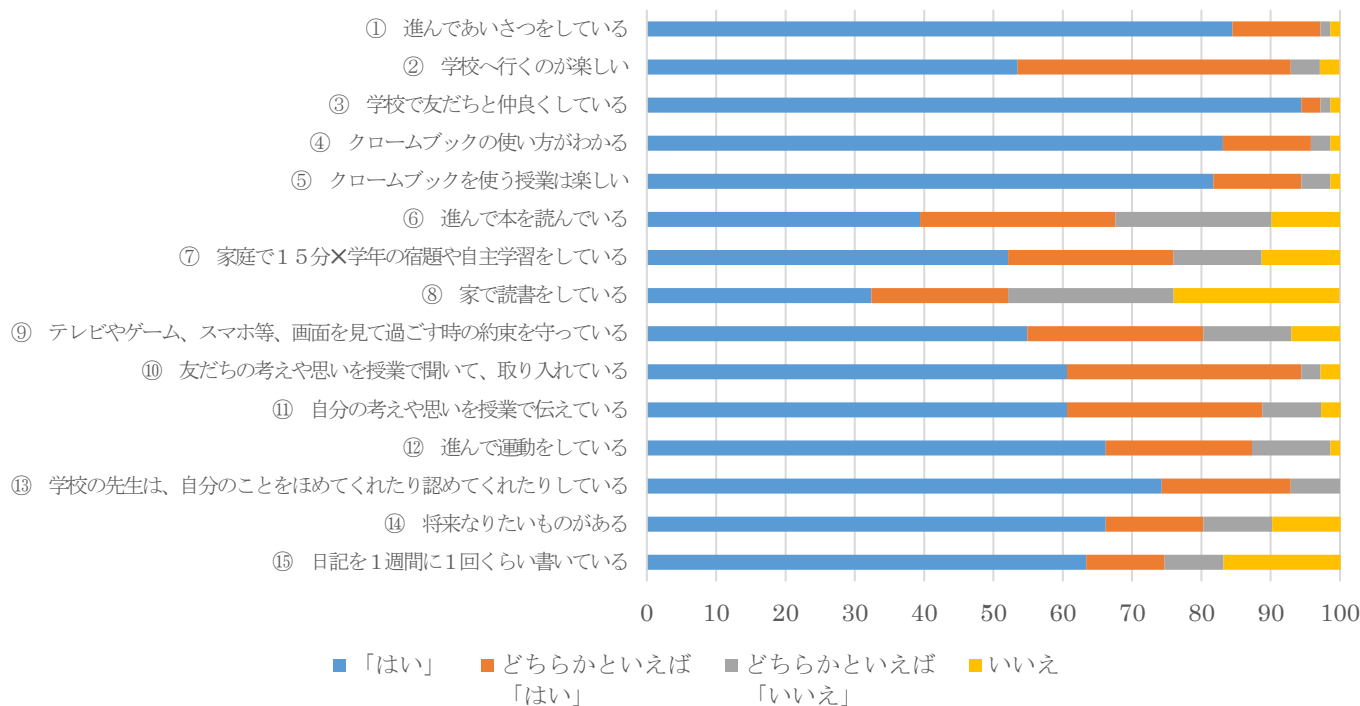




令和6年度子どもアンケートの結果から

1月に子どもアンケートを実施しました。7月の結果と比較もしました。この結果をもとに来年度の取組に役立てます。

令和6年度 子どもアンケート（1月） 単位:%



◎①②③④⑤⑩⑬ ○⑨⑪⑫⑭ △⑦⑮ ▲⑥⑧

令和6年度 庄内小学校 子どもアンケート 肯定的回答の比較 (%)

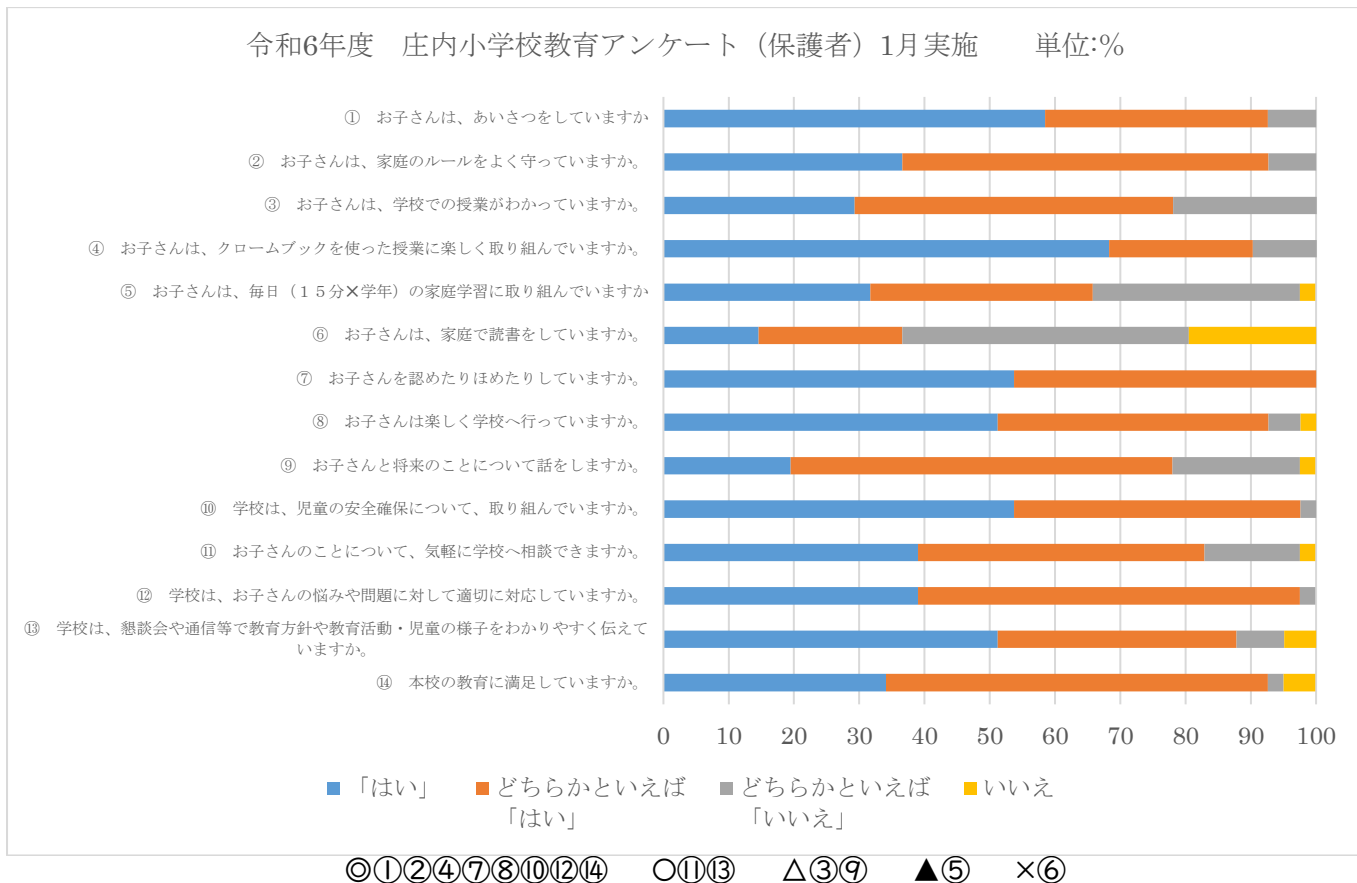
質問	7月	1月	差
① 進んであいさつをしている	95.9	97.2	1.3
② 学校へ行くのが楽しい	87.6	92.9	5.3
③ 学校で友だちと仲良くしている	98.6	97.2	-1.4
④ クロームブックの使い方がわかる	97.3	95.8	-1.5
⑤ クロームブックを使う授業は楽しい	98.6	94.4	-4.2
⑥ 進んで本を読んでいる	72.6	67.6	-5
⑦ 家庭で15分×学年の宿題や自主学習をしている	78.1	76	-2.1
⑧ 家で読書をしている	60.3	52.1	-8.2
⑨ テレビやゲーム、スマホ等、画面を見て過ごす時の約束を守っている	79.4	80.3	0.9
⑩ 友だちの考えや思いを授業で聞いて、取り入れている	91.8	94.4	2.6
⑪ 自分の考えや思いを授業で伝えている	83.6	88.8	5.2
⑫ 進んで運動をしている	94.5	87.3	-7.2
⑬ 学校の先生は、自分のことをほめてくれたり認めてくれたりしている	88.6	92.9	4.3
⑭ 将来になりたいものがある	84.9	80.3	-4.6
⑮ 日記を1週間に1回くらい書いている	74	74.7	0.7

◎②⑪ ○①⑨⑩⑬ △③④⑤⑦⑭ ▲⑥⑧⑫

学校が楽しいと感じる子や自分の考えや思いを伝えられる子が増えました。また、子どもたちをほめて伸ばすことを大切にしてきましたが、子どもたちが実感として感じられている様子がうかがえます。その他、挨拶や仲の良さ、クロームブックを使った学習等が肯定的割合を高く保っています。一方で、読書や運動の項目が落ちていることから、ゲームやスマホ等のスクリーンタイムが影響していると推察されます。「ゲームはする。読書はしない。」という様子がチェックシートで顕著に表れている子もいます。読書は心の栄養であり、学力向上の源です。来年度は、読書に係る取組を強化します。お家の方には、「家で読書ができる環境づくり」にご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年度教育アンケートの結果から

保護者の皆様にも、1月に教育アンケートにご協力いただきました。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございます。この結果をもとに来年度の取組に役立てます。



令和6年度 庄内小学校教育アンケート（保護者回答）肯定的回答の比較（％）		肯定的回答		
質問		7月	1月	差
① お子さんは、あいさつをしていますか		89.2	92.6	3.4
② お子さんは、家庭のルールをよく守っていますか。		81.1	92.7	11.6
③ お子さんは、学校での授業がわかっていますか。		81	78.1	-2.9
④ お子さんは、クロームブックを使った授業に楽しく取り組んでいますか。		90.5	90.3	-0.2
⑤ お子さんは、毎日（15分×学年）の家庭学習に取り組んでいますか		62.1	65.8	3.7
⑥ お子さんは、家庭で読書をしていますか。		36.5	36.6	0.1
⑦ お子さんを認めたりほめたりしていますか。		93.2	100	6.8
⑧ お子さんは楽しく学校へ行っていますか。		87.8	92.7	4.9
⑨ お子さんと将来のことについて話をしますか。		68.9	78	9.1
⑩ 学校は、児童の安全確保について、取り組んでいますか。		98.6	97.6	-1
⑪ お子さんのことについて、気軽に学校へ相談できますか。		87.8	82.9	-4.9
⑫ 学校は、お子さんの悩みや問題に対して適切に対応していますか。		82.4	97.5	15.1
⑬ 学校は、懇談会や通信等で教育方針や教育活動・児童の様子をわかりやすく伝えていきますか。		90.5	87.8	-2.7
⑭ 本校の教育に満足していますか。		91.9	92.6	0.7

◎②⑦⑨⑫ ○①⑤⑥⑧⑭ △③④⑩⑬ ▲⑪

今年度は、非認知能力の育成に力を入れております。下表の結果をみると、「家庭のルールを守れる（社会性）」「認めたり褒めたりする（自己肯定感）」「将来の夢を語る（自己肯定感）」の肯定的割合が増えています。お家の皆様がお子さんに愛情をいっぱい注がれていることにより非認知能力が向上していると考えています。学校でも子どもたちをどんどん褒めて自己肯定感を高め、安心し自信をもって過ごせるように取組を継続します。

また、「悩みや問題への適切な対応」を評価していただきました。この結果に驕ることなく、これからもお子さんに寄り添い真摯に対応して参ります。

一方で、「気軽に相談できない」と思われる方が増えたことは大きな課題であり、まだまだ学校の敷居が高く、開かれていないのだと受け止めております。相談してもらえる学校体制づくりに精一杯努めます。

また、宿題や読書に課題があると指摘をいただきました。「宿題は家で必ずしてくるもの」ということを子どもたちに根気強く指導します。子どもアンケートの考察でも述べましたが、家庭読書については大きな課題と認識し、来年度の取組を強化して参ります。家で宿題や読書を進められるように、お家の方の声かけと環境づくりにご協力ください。